

講演・シンポジウム

「公共表示の多言語化と多文化共生」

第一部 講演

ダニエル・ロング（首都大学東京・教授）
題目「多文化共生から考える多言語表示」

第二部 シンポジウム 研究報告

1. 山名由起子（徳島県国際戦略課係長）

「徳島県における多文化共生のまちづくり」

2. 野田憲史・池内聖一（徳島市市民環境部住民課）

「外国人住民登録制度開始と窓口サービスについて」

3. 中井精一（富山大学・准教授）

「3.11 東日本震災から通文化表示を考える」

4. 米 麗英（上海財経大学・准教授）

「日本旅行留学希望者の防災意識と多言語防災案内の希望の有無」

5. 陳 英・峪口有香子（徳島大学大学院生）

「防災意識アンケート調査の分析」

6. 董 艶秋（徳島大学大学院生）

「徳島の外国人向け防災パンフレットの現状について」

企画：国際化に伴う多言語表示推進グループ

日 時：平成24年2月5日（日）午後1時～午後4時30分

場 所：徳島大学常三島キャンパス3号館スタジオ

連絡先：徳島大学総合科学部日本語学研究室

TEL・FAX：088-656-9309

Email：kishie@ias.tokushima-u.ac.jp